

主催：映画「あん」の向こう側実行委員会


参加費  
無料

オンライン講演会

# ドリアン助川さん

## -小説「あん」ができるまで-

日時 2021年  
7月25日(日) 14:00～16:00

配信方法 YouTubeLive 

サテライト会場  
富士見公民館2階第一集会室/定員先着20名  
※自宅でパソコンで見られない方向けに用意しました



ドリアン助川氏  
プロフィール  
作家・歌手  
明治学院大学国際学部教授

申込

以下のフォームより  
お申込みください

<https://mukougawa210725.peatix.com/>

QRコード



※上記にアクセスできない方はお問合せください

1962年東京生まれ。早稲田大学第一文学部東洋哲学科卒。  
日本ペンクラブ常務理事。長野パラリンピック大会歌「旅立ちの時」作詞者。  
放送作家・海外取材記者を経て、1990年バンド「叫ぶ詩人の会」を結成。  
ラジオ深夜放送のパーソナリティとしても活躍。担当したニッポン放送系列  
「正義のラジオ・ジャンベルジャン」が放送文化基金賞を受賞。  
同バンド解散後、2000年からニューヨークに3年間滞在し、日米混成バンドで  
ライブを繰り広げる。帰国後は明川哲也の第二筆名も交え、本格的に執筆を開始。  
著書多数。  
小説「あん」は河瀬直美監督により映画化され、2015年カンヌ国際映画祭の  
オープニングフィルムとなる。また小説そのものもフランス、イギリス、ドイ  
ツ、イタリアなど14言語に翻訳されている。2017年、小説「あん」がフラン  
スの「DOMITYS文学賞」と「読者による文庫本大賞(Le Prix des Lecteurs  
du Livre du Poche)」の二冠を得る。  
2019年、「線量計と奥の細道」が「日本エッセイスト・クラブ賞」を受賞。

東村山市がロケ地となった映画「あん」  
その原作者であるドリアン助川さんに、  
どのような思いや紆余曲折を経て「あん」  
という物語を紡いだのかをお話しいただ  
き、改めてハンセン病問題や人権について  
考える機会にしたいと思います。

協賛：まちジャム実行委員会、NPO法人PAGE2  
後援：東村山市・東村山市議会・東村山市教育委員会  
東村山市社会福祉協議会

※2021年6月20日現在

問合先：映画「あん」の向こう側実行委員会  
mukougawa2019@gmail.com / 090-8476-0034 (若月)

8月3日(火)～15日(日)  
「ハンセン病問題を  
知る企画」  
東村山市中央公民館で  
開催予定!